

葉山町議会議長  
伊東圭介様

国民健康保険への一般会計からの繰り入れを求める陳情

2019年2月4日



陳情の趣旨

国民健康保険制度（国保）は、憲法第25条（健康で文化的な最低限度の生活を営む権利）で保障されている社会保障制度の一つです。これは、全ての国民の権利として保障されているものです。

葉山町では現在、短期証の発行は182世帯（2017年9月～10月現在）になっています。

一方、町民の医療給付は県下32位に対して保険料は16位でほぼ真ん中。給付に対する保険料の割合は高い水準にあります。

今国が、補助金の削減や「国保の都道府県化」を行う中、町が防波堤となり町民の命と暮らしを守るため一般会計からの繰り入れを増額し、より低額な国民健康保険料にすることを強く求めます。

